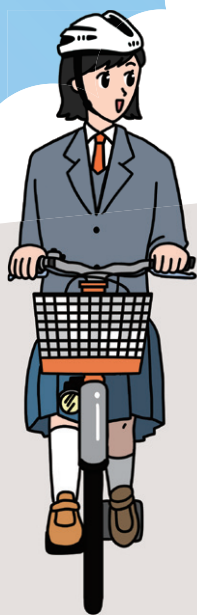


保護者の皆様！

高校生の 自転車事故は 登校時に一番多く 起きています。

自転車事故は、自分が傷つくだけでなく、
相手を傷つけてしまうこともあります。
朝、あわてて家を出ている様子はありませんか。
事故が起きてしまったらでは、遅いのです。



出掛ける前 愛情一声 「気を付けて！」
必ず加入 人生守る 自転車保険
乗車時は ヘルメットにて 頭部保護

東京都では、都立高等学校等の生徒の自転車通学時の自転車の安全な利用についての取組を推進しています。

高校生の自転車事故は、登校時間帯に集中しています。(警視庁HPより)
東京都の条例で、自転車事故賠償保険への加入が義務付けされました。
自転車による死亡事故においては、頭部の損傷が7割を占めます。



東京都教育委員会

保護者の皆様へ、知っておいてほしい3つのこと

1. 自転車損害賠償保険等の加入が義務となっています。

＜東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例＞（令和2年4月改正）

自転車で通学を希望する場合、自転車損害賠償保険等の加入が義務となっています。

（自転車利用者の自転車損害賠償保険等への加入等）

第27条 自転車利用者（未成年者を除く。）は、（中略）自転車損害賠償保険等に加入しなければならない。

（保護者の自転車損害賠償保険等への加入等）

第27条の2 保護者は、その監護する未成年者が自転車を利用するときは、（中略）自転車損害賠償保険等に加入しなければならない。

自転車で通学を希望する場合、乗車用ヘルメットの着用等に努めなければなりません。

（十八歳未満の者及び高齢者の技能及び知識の習得等）

第15条 父母その他の保護者は、その監護する十八歳未満の者が、自転車を安全で適正に利用することができるよう（中略）乗車用ヘルメットを着用させる等の必要な対策を行うよう努めなければならない。

（安全に資する器具の利用）

第19条 自転車利用者は、反射材、乗車用ヘルメットその他の交通事故を防止し、又は交通事故の被害を軽減する器具を利用するよう努めるものとする。

※道路交通法の一部を改正する法律（令和4年4月27日公布）では、全ての年齢層に対する自転車乗用時の乗車用ヘルメット着用の努力義務化が示されました。

2. 自転車事故では被害者の場合だけでなく、加害者になることがあります。

法律違反をして事故を起こすと、自転車利用者は刑事上の責任が問われます。また、相手にケガを負わせた場合、民事上の損害賠償責任も発生します。



刑事上の責任：
重大な過失により、
相手を死傷させた場合、
「重過失致死傷罪」となる。

民事上の責任：
被害者に対する
損害賠償の責任を負う。

自転車事故で1億円請求された
（自転車事故の高額賠償事例）

- 高校生が昼間、自転車横断帯のかなり手前の歩道から車道を斜めに横断し、対向車線を自転車で直進してきた男性会社員(24歳)と衝突。男性会社員に重大な障がい（言語機能の喪失等）が残った。
（平成20年：9,266万円）
- 高校生が夜間、イヤホンで音楽を聞きながら無灯火で自転車を運転中に、パトカーの追跡を受けて逃走し、職務質問中の警察官(25歳)と衝突。警察官は、頭蓋骨骨折等で約2か月後に死亡した。
（令和2年：9,330万円）（一般社団法人日本損害保険協会）

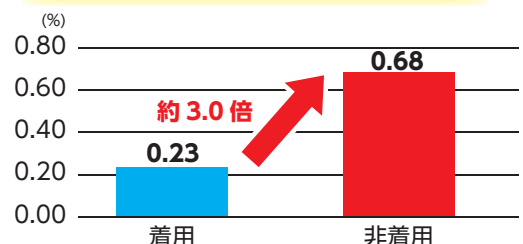
3. 自転車による重大事故を防ぐためには、乗車用ヘルメットをかぶり、頭部を守ることが重要です。

自転車事故で死亡した人の約7割が頭部に致命傷を負っています。乗車用ヘルメットをかぶり、頭部を守ることが重要です。

令和2年における自転車乗用中の乗車用ヘルメット着用状況別の致死率（死傷者数のうち死者の占める割合）を比較したところ、非着用時の致死率は、着用時に比べて約3倍高くなっています。



ヘルメット着用状況別の
致死率比較（令和2年）



（警視庁 令和2年における交通事故の発生状況等について）

